



一括管理ツール使用したユーザおよびデバイスのプロビジョニング

- [一括管理ツールの概要 \(1 ページ\)](#)
- [一括管理ツールの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [一括管理ツールのタスク フロー \(2 ページ\)](#)

一括管理ツールの概要

一括管理ツール (BAT) は、Unified Communications Manager データベースに対してバルク トランザクションを実行するのに使用できる Web ベースのアプリケーションです。BAT を使用することで、類似する多数の電話、ユーザ、ポートの追加、更新、または削除を一度に実行できます。



(注) [一括管理 (Bulk Administration)] メニューは、Unified Communications Manager サーバの最初のノードでのみ表示されます。

Cisco Unified CM Administration の [一括管理 (Bulk Administration)] メニューから送信されたすべてのジョブは、Cisco Bulk Provisioning Service (BPS) によって管理および保守されます。このサービスは、Cisco Unified Serviceability から開始できます。Cisco Bulk Provisioning Service は、Unified Communications Manager の最初のノード上でのみアクティブ化する必要があります。

BAT を使用して、次の処理を実行できます。

- 多数の電話の追加、更新、または削除を一括で実行する
- 新しい電話のグループを追加する共通の電話属性を定義する
- 新しい BAT 電話テンプレートを作成する
- 新規ユーザのグループを追加し、ユーザを電話やその他の IP テレフォニー デバイスに関連付ける

- BAT スプレッドシートからユーザ CSV データ ファイルを作成する
- 電話とユーザをバッチで追加するための CSV データ ファイルを作成する
- 電話機とユーザのグループを Unified Communications Manager データベースとディレクトリに追加する

一括管理ツールの前提条件

- ユーザおよびサービスのプロファイルの設定

一括管理ツールのタスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	データベースへの電話の追加 (3 ページ)	BAT を使用して、電話およびその他の IP テレフォニー デバイスを Unified Communications Manager データベースに一括で追加します。
ステップ 2	新しい BAT 電話テンプレートの作成 (4 ページ)	新しい BAT 電話テンプレートを作成できます。
ステップ 3	BAT スプレッドシートを使用した電話用 CSV データ ファイルの作成 (10 ページ)	BAT で使用するよう設計された .xls 形式のスプレッドシートを使用して、新しい電話または IP テレフォニー デバイスをシステムに追加できます。
ステップ 4	テキストエディタを使用したカスタム電話ファイル形式の作成 (13 ページ)	テキストエディタを使用して、テキストベースの CSV データ ファイル用にカスタムの電話ファイル形式を作成できます。
ステップ 5	Unified Communications Manager への電話の挿入 (14 ページ)	電話、Cisco VGC Phone、CTI ポート、または H.323 クライアントを Unified Communications Manager データベースに追加できます。
ステップ 6	ユーザの追加 (16 ページ)	BAT を使用して、新規ユーザのグループを追加し、ユーザを電話やその他の IP テレフォニー デバイスに関連付けることができます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	BAT スプレッドシートからのユーザ CSV データ ファイルの作成 (17 ページ)	Unified Communications Manager データベースに新しいユーザを追加するための詳細情報を BAT スプレッドシートに入力し、それを CSV データ ファイルに変換することができます。
ステップ 8	Unified Communications Manager データベースへのユーザの挿入 (18 ページ)	CSV データ ファイルを使用して、ユーザのグループを Unified Communications Manager データベースに追加できます。
ステップ 9	電話およびユーザのファイル形式の追加 (20 ページ)	テキストベースの CSV データ ファイルを使用して、電話とユーザのファイル形式を追加できます。CSV データ ファイルが作成された後で、そのファイル形式をテキストベースの CSV データ ファイルと関連付ける必要があります。
ステップ 10	Unified Communications Manager への電話機とユーザの挿入 (21 ページ)	電話とユーザのグループを Unified Communications Manager データベースとディレクトリに追加できます。

データベースへの電話の追加

BAT を使用して、電話およびその他の IP テレフォニー デバイスを Unified Communications Manager データベースに一括で追加する場合は、個々の電話に複数の回線、サービス、および短縮ダイヤルを追加できます。CTI ポートと H.323 クライアントを追加することもできます。

電話機の CSV データ ファイルの作成には、2 つのオプションがあります。

- BAT スプレッドシート (BAT.xlt) を使用して、データを CSV 形式にエクスポートする
- テキストエディタを使用して、CSV 形式のテキストファイルを作成する (経験豊富なユーザ向け)

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話テンプレート (Phone Template)] を選択します。

[電話テンプレートの検索と一覧表示 (Find and List Phone Templates)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 電話テンプレートを挿入する CSV ファイルを作成します。

次のいずれかの選択肢を実行します。

- a) BAT スプレッドシートを使用して CSV データ ファイルを作成します。
- b) 次のように、テキスト エディタを使用して CSV データ ファイルを作成します。
 1. [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話ファイル形式 (Phone File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] を選択します。
 2. テキストエディタを使用して、使用するファイル形式に従って電話の CSV データ ファイルを作成します。
 3. [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話ファイル形式 (Phone File Format)] > [ファイル形式の追加 (Add File Format)] を選択して、テキストベースのファイル形式と CSV データ ファイルを関連付けます。

ステップ 3 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話の検証 (Validate Phones)] を選択します。

ステップ 4 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話の挿入 (Insert phones)] を選択して、電話レコードを Unified Communications Manager データベースに挿入します。

新しい BAT 電話テンプレートの作成

新しい BAT 電話テンプレートを作成できます。電話テンプレートを作成したら、回線、サービス、および短縮ダイヤルを追加できます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話テンプレート (Phone Template)] を選択します。

ステップ 2 [Add New] をクリックします。[新しい電話テンプレートの追加 (Add a New Phone Template)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [電話タイプ (Phone Type)] ドロップダウンリストから、テンプレートを作成する電話モデルを選択します。[Next] をクリックします。

ステップ 4 [デバイス プロトコルの選択 (Select the device protocol)] ドロップダウンリストから、デバイス プロトコルを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。

[電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウに、選択したデバイス タイプに対応するフィールドとデフォルトのエントリが表示されます。

ステップ 5 [テンプレート名 (Template Name)] フィールドに、テンプレートの名前を入力します。名前には、最大 50 文字の英数字を使用できます。

ステップ 6 [デバイス情報 (Device Information)] 領域に、このバッチの共通の電話設定を入力します。電話モデルとデバイスタイプによっては、一覧に示されている属性がすべて揃っていないものがあります。すべての属性の詳細については、電話機モデルのドキュメントを参照してください。

ステップ7 この BAT 電話テンプレートのすべての設定項目を入力したら、[保存 (Save)] をクリックします。

トランザクションが完了したことがステータスに示されたら、回線の属性を追加できます。

BAT テンプレートでの電話回線の追加または更新

BAT テンプレートに 1 つ以上の回線を追加したり、既存の回線を更新したりできます。BAT テンプレートで使用されているボタンテンプレートによって、追加または更新できる回線の数が決まります。複数の回線を設定したマスター電話テンプレートを作成できます。そのマスターテンプレートを使用して、1 本の回線を設定するか、またはマスターテンプレート内の回線数を上限とする回線を設定して、電話を追加できます。選択する設定値は、このバッチ内のすべての電話機またはユーザ デバイス プロファイルで使用されます。

回線テンプレートの値には、英数字を使用することを推奨します。番号を指定すると、実際のディレクトリ番号と競合する可能性があるためです。英数字を使用することで、コールピックアップグループ番号およびコールパーク番号などの機能との競合も回避できます。

BAT テンプレートに表示される回線の最大数は、BAT 電話テンプレートの作成時に選択したモデルおよびボタンテンプレートによって異なります。一部の Cisco Unified IP Phone モデルでは、Cisco Unified IP Phone サービスと短縮ダイヤルもテンプレートに追加できます。

手順

ステップ1 回線を追加する電話テンプレートを見つけます。

ステップ2 [電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウで、[割り当て情報 (Association Information)] 領域にある [回線[1]-新規DNを追加 (Line [1] - Add a new DN)] をクリックします。

[回線テンプレートの設定 (Line Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 回線の設定に適切な値を入力するか、選択します。

ステップ4 [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ5 追加の回線用に設定値を追加するには、[ステップ2 \(5 ページ\)](#) ~ [ステップ4 \(5 ページ\)](#) を繰り返します。

[回線テンプレートの設定 (Line Template Configuration)] ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストボックスから [検索/一覧表示に戻る (Back to Find/List)] を選択すると、[回線テンプレートの検索/一覧表示 (Find and List Line Template)] ウィンドウが表示されます。

- 既存の回線テンプレートを検索するには、適切な検索条件を入力して、[検索 (Find)] をクリックします。
- 新しい回線テンプレートを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

BAT テンプレートでの IP サービスの追加または更新

BAT テンプレートで機能を直接入力してある Cisco Unified IP Phone モデルに、Cisco Unified IP Phone サービスを登録できます。ユーザまたは電話機を IP サービスにまとめて登録するには、IP サービスに共通のサービスパラメータが設定されており、電話テンプレートを介して登録されている必要があります。固有のサービスパラメータを持つ IP サービスをまとめて登録することはできません。固有のパラメータを持つサービスの場合、CSVファイルを使用します。

手順

- ステップ 1 IP サービスを追加する電話テンプレートを見つけます。
- ステップ 2 [電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウで、[割り当て情報 (Association Information)] 領域にある [新規SURLを追加 (Add a new SURL)] をクリックします。
ポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウで、使用可能な Cisco Unified IP Phone サービスに登録できます。
- ステップ 3 [サービスの選択 (Select a Service)] ドロップダウンリストボックスで、すべての電話に登録するサービスを選択します。[サービスの説明 (Service Description)] ボックスに、選択したサービスの詳細が表示されます。
- ステップ 4 [Next] をクリックします。
- ステップ 5 必要に応じて、[サービス名 (Service Name)] フィールドでサービスの名前を変更します。
- ステップ 6 選択したサービスを関連付けるか、他のサービスをテンプレートに追加します。
 - a) これらの電話サービスを電話テンプレートに関連付けるには、[保存 (Save)] をクリックします。
 - b) さらにサービスを追加するには、[ステップ 3 \(6 ページ\)](#) ~ [ステップ 6 \(6 ページ\)](#) の手順を繰り返します。
 - c) すべてのサービスをテンプレートに追加するには、[更新 (Update)] をクリックします。選択したテンプレートに対するサービスの追加または更新が完了したら、次のステップに進みます。
- ステップ 7 ポップアップウィンドウを閉じます。

次のタスク

続けて、選択したテンプレートに短縮ダイヤルを追加できます。

BAT テンプレートでの短縮ダイヤルの追加または更新

電話ボタンテンプレートに短縮ダイヤルボタンがある場合、電話用および Cisco VGC Phone 用の BAT テンプレートで短縮ダイヤルを追加したり更新したりできます。BAT テンプレートで使用される電話ボタンテンプレートによって、使用できる短縮ダイヤルボタンの数が決定します。

手順

ステップ 1 短縮ダイヤルを追加する電話テンプレートを見つけます。

ステップ 2 [電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウで、次のいずれかを実行します。

- a) [割り当て情報 (Association Information)] 領域で、[新規SDを追加 (Add a new SD)] をクリックします。
- b) ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから、[短縮ダイヤルの追加/更新 (Add/Update Speed Dials)] を選択します。

ポップアップ ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、Cisco Unified IP Phone と拡張モジュールの短縮ダイヤル ボタンを指定できます。

ステップ 3 [短縮ダイヤル設定 (Speed Dial Settings)] 領域で、アクセス コードまたは長距離コードを含めて、電話番号を [番号 (Number)] フィールドに入力します。

(注) 電話番号を入力する際に、必要に応じて、強制承認コード (FAC) またはクライアント識別コード (CMC) を続けて入力することもできます。電話番号、FAC、CMC を、続けて入力するか、カンマ (,) で区切って入力することができます。短縮ダイヤルには、コールが接続された後にDTMF デジットとして送信される PIN、パスワード、またはその他の数字を含めることができます。短縮ダイヤルで接続するときに一時停止を必要とする場合、1つ以上のカンマ (,) を入力することができます。各カンマは 2 秒間の一時停止を表します。DTMF デジットは、コールが接続され、カンマの数に対応する適切な一時停止期間が経過した後に送信されます。

ステップ 4 [ラベル (Label)] フィールドに、短縮ダイヤル番号に対応するラベルを入力します。

ステップ 5 [短縮ダイヤルの設定 (Abbreviated Dial Settings)] 領域で、該当する IP 電話モデル用の短縮ダイヤルを設定することができます。 [ステップ 3 \(7 ページ\)](#) を繰り返します。

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

BAT によってテンプレートに短縮ダイヤルの設定が挿入され、ポップアップ ウィンドウが閉じます。

BAT テンプレートでの話中ランプ フィールドの追加または更新

電話ボタン テンプレートに短縮ダイヤル ボタンがある場合、一般の電話用および Cisco VGC Phone 用の BAT テンプレートで話中ランプ フィールドを追加したり、更新したりできます。BAT テンプレートに使用される電話ボタンテンプレートによって、使用できる BLF SD ボタンの数が決まります。

手順

ステップ 1 短縮ダイヤルを追加する電話テンプレートを見つけます。

- ステップ 2** [電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウで、次のいずれかを実行します。
- [割り当て情報 (Association Information)] 領域で、[新規BLF SDを追加 (Add a new BLF SD)] をクリックします。
 - ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックス から、[話中ランプフィールド短縮ダイヤルの追加/更新 (Add/Update Busy Lamp Field Speed Dials)] を選択します。
- ポップアップ ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、Cisco Unified IP Phone と拡張モジュールに話中ランプ フィールド短縮ダイヤル (BLF SD) ボタンを指定できます。
- ステップ 3** [短縮ダイヤル設定 (Speed Dial Settings)] 領域で、アクセスコードまたは長距離コードを含めて、接続を [接続先 (Destination)] フィールドに入力します。
- ステップ 4** ドロップダウン リスト ボックス から、ディレクトリ番号を選択します。[検索 (Find)] をクリックすると、ディレクトリ番号を検索できます。
- ステップ 5** [ラベル (Label)] フィールドに、BLF SD 番号に対応するラベルを入力します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- BAT によってテンプレートに BLF SD の設定が挿入され、ポップアップ ウィンドウが閉じます。

BAT テンプレートでの話中ランプ フィールド ダイレクト コール パークの追加または更新

電話機ボタンテンプレートで短縮ダイヤルボタンが設定されている場合は、電話および Cisco VGC Phone の BAT テンプレートで話中ランプ フィールド (BLF) ダイレクト コール パークを追加するか更新することができます。この BAT テンプレートで使用されている電話ボタンテンプレートによって、使用可能な BLF ダイレクト コール パーク ボタンの数が決まります。

手順

- ステップ 1** BLF 短縮ダイレクト コール パークを追加する電話テンプレートを見つけます。
- ステップ 2** [電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウで、次のいずれかを実行します。
- [割り当て情報 (Association Information)] 領域で、[新規BLFダイレクトコールパークの追加 (Add a new BLF Directed Call Park)] をクリックします。
 - ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックス から、[BLFダイレクトコールパークの追加/更新 (Add/Update BLF Directed Call Park)] を選択します。
- ポップアップ ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、Cisco Unified IP Phone および拡張モジュールに対して、BLF ダイレクト コール パーク ボタンを指定できます。

- ステップ 3** [割り当てられていない話中ランプフィールド/ダイレクトコールパークの設定 (Unassigned Busy Lamp Field/Directed Call Park Settings)] 領域で、ドロップダウンリストボックスからディレクトリ番号を選択します。[検索 (Find)] をクリックすると、ディレクトリ番号を検索できます。
- ステップ 4** [ラベル (Label)] フィールドに、BLF ダイレクト コール パーク番号に対応するラベルを入力します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
BAT によってテンプレートに BLF ダイレクト コール パーク設定が挿入され、ポップアップウィンドウが閉じます。

BAT テンプレートでのインターコム テンプレートの追加または更新

BAT テンプレートに 1 つ以上のインターコム テンプレートを追加したり、BAT テンプレートの既存のインターコム テンプレートを更新したりすることができます。BAT テンプレートで使用しているボタンテンプレートにより、追加または更新できる回線の数が決まります。複数の回線を設定したマスター電話テンプレートを作成できます。そのマスターテンプレートを使用して、1 本の回線を設定するか、またはマスターテンプレート内の回線数を上限とする回線を設定して、電話を追加できます。インターコム テンプレート用に選択する設定値は、このバッチ内のすべての電話機またはユーザ デバイス プロファイルで使用されます。

インターコムテンプレートには、英数字を使用することを推奨します。番号を指定すると、実際のディレクトリ番号と競合する可能性があるためです。英数字を使用することで、コールピックアップ グループ番号およびコールパーク番号などの機能との競合も回避できます。

BAT テンプレートで表示される回線の最大数は、BAT 電話テンプレートの作成時に選択したモデルとボタンテンプレートによって決まります。一部の Cisco Unified IP Phone モデルでは、Cisco Unified IP Phone サービスと短縮ダイヤルもテンプレートに追加できます。

手順

- ステップ 1** インターコム テンプレートを追加する電話テンプレートを探します。
- ステップ 2** [電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウで、[割り当て情報 (Association Information)] 領域の [インターコム[1]-インターコムの新規追加 (Intercom [1]-Add a new Intercom)] をクリックします。
[インターコムテンプレートの設定 (Intercom Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** インターコム テンプレートの設定項目に適切な値を入力するか、選択します。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
BAT によって、インターコム テンプレートが電話テンプレートの設定に追加されます。
- ステップ 5** 追加のインターコム テンプレート用に設定を追加するには、[ステップ 2 \(9 ページ\)](#) ～ [ステップ 4 \(9 ページ\)](#) の手順を繰り返します。
[インターコムテンプレートの設定 (Intercom Template Configuration)] ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストボックスから [検索/一覧表示に戻る]

(Back to Find/List)] を選択した場合、[インターコム電話番号の検索/一覧表示 (Find and List Intercom Directory Number)] ウィンドウが表示されます。

(注) [インターコムテンプレートの設定 (Intercom Template Configuration)] ウィンドウの右上にある [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストボックスから [検索/一覧表示に戻る (Back to Find/List)] を選択した場合、[インターコム電話番号の検索/一覧表示 (Find and List Intercom Directory Number)] ウィンドウが表示されます。

- a) 既存のインターコム ディレクトリ番号を検索するには、適切な検索条件を入力して、[検索 (Find)] をクリックします。
- b) 新しいインターコム ディレクトリ番号を追加するには、[インターコム電話番号の検索/一覧表示 (Find and List Intercom Directory Numbers)] ウィンドウで、[新規追加 (Add New)] をクリックします。

BAT スプレッドシートを使用した電話用 CSV データ ファイルの作成

BAT スプレッドシートを使用して、CSV データ ファイルを作成します。スプレッドシート内でファイル形式を定義できます。その場合、BAT スプレッドシートは、そのデータ ファイル形式を使用して CSV データ ファイルのフィールドを表示します。



- (注) いずれかのフィールドにカンマが入力されている場合、BAT 形式にエクスポートする際にそのフィールドエントリは二重引用符で囲まれます。

BAT スプレッドシートに空白行を含めると、その空白行がファイルの終わりとして扱われます。空白行より後に入力されたデータは BAT 形式に変換されません。

CTI ポートの追加時に、ダミー MAC アドレスのオプションを使用できます。このオプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、各 CTI ポートに一意的なデバイス名が指定されます。このデバイス名は、後で Unified Communications Manager Administration または Unified CM 自動登録電話ツールを使用して手動で更新できます。ダミー MAC アドレスのオプションは、H.323 クライアント、VGC 電話、または VGC 仮想電話には使用しないでください。

ダミー MAC アドレスのオプションにより、次の形式のダミー MAC アドレスが自動的に生成されます。

XXXXXXXXXXXX

ここで、X は、任意の 12 文字の 16 進数値 (0 ~ 9 と A ~ F) を表します。



- 注目** BAT スプレッドシートで電話用に定義する回線や短縮ダイヤルの数は、BAT 電話テンプレートで定義された数を超えないようにする必要があります。そうでないと、CSV データ ファイルおよび BAT テンプレートの挿入を試みたときにエラーが発生します。

BAT スプレッドシートのすべてのフィールドの編集が完了したら、その内容を CSV 形式のデータ ファイルにエクスポートできます。エクスポートされる CSV 形式のデータ ファイルには、次のようなデフォルトのファイル名が割り当てられます。

<タブ名>-<タイムスタンプ>.txt

ここで、<タブ名> は、作成した入力ファイルのタイプ（たとえば電話）を表し、<タイムスタンプ> は、ファイルが作成された正確な日時を表します。

エクスポートされたファイルをローカルワークステーションに保存した後で、CSV 形式のデータ ファイルの名前を変更できます。



(注) CSV ファイル名にカンマが含まれていると（例：abcd,e.txt）、Unified Communications Manager サーバにアップロードできません。

手順

- ステップ 1 BAT.xlt ファイルを見つけてダブルクリックし、BAT スプレッドシートを開きます。
- ステップ 2 スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。
- ステップ 3 電話のオプションを表示するには、スプレッドシートの下部にある [電話 (Phones)] タブをクリックします。
- ステップ 4 次のいずれかのデバイス タイプのラジオ ボタンを選択します。

選択するデバイスタイプによって BAT スプレッドシート内のデータの検証条件が決まります。

 - [電話 (Phones)]
 - [CTIポート (CTI Port)]
 - [H.323クライアント (H.323 Client)]
 - [VGC電話 (VGC Phones)]
 - [VGC仮想電話 (VGC Virtual Phones)]
 - [Cisco IP Communicator Phone]

スプレッドシートには、選択したデバイスで使用可能なオプションが表示されます。たとえば、[電話 (Phones)] を選択すると、電話回線数と短縮ダイヤル数のフィールドが表示されます。
- ステップ 5 電話ごとに BAT スプレッドシートに表示するデバイスおよび回線のフィールドを選択します。次の手順を実行します。
 - a) [ファイル形式の作成 (Create File Format)] をクリックします。
 - b) デバイス フィールドを選択するには、[デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスでデバイス フィールド名をクリックし、次に矢印をクリックしてそのフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] ボックスに移動します。

CSV データ ファイルには、[MACアドレス/デバイス名 (MAC Address/Device Name)] と [説明 (Description)] を含める必要があります。したがって、これらのフィールドは常に選択された状態になっています。

ヒント リスト内の項目の範囲を選択するには、**Shift** キーを押しながらフィールド名をクリックします。複数のフィールド名を個別に選択するには、**Ctrl** キーを押しながらフィールド名をクリックします。

- c) [回線フィールド (Line Fields)] ボックスで回線フィールド名をクリックしてから、矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスに移動します。

ヒント [選択済みの回線 (Selected Line)] ボックスと [デバイス (Device)] ボックス内で項目の順序を変更するには、項目を選択し、上矢印と下矢印を使用して、リスト内でフィールドを上または下に移動します。

- d) 既存の CSV 形式を上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。CSV データ ファイル形式を修正するには、[作成 (Create)] をクリックします。
- e) [OK] をクリックします。
選択したフィールド用の新しい列が、指定した順序で BAT スプレッドシートに表示されます。

- ステップ 6** [電話回線数 (Number of Phone Lines)] ボックスが表示されるまで右にスクロールし、電話の回線数を入力します。

(注) BAT テンプレートで設定された回線の数を超える回線数を入力することはできません。

- ステップ 7** 電話の場合は、[短縮ダイヤルの最大数 (Maximum Number of Speed Dials)] ボックスに、短縮ダイヤル ボタンの数を入力する必要があります。

(注) BAT テンプレートで設定された短縮ダイヤルの数を超える短縮ダイヤル数を入力することはできません。

ボタン数を入力すると、各短縮ダイヤル番号用の列が表示されます。

- ステップ 8** [BLF短縮ダイヤルの最大数 (Maximum Number of BLF Speed Dials)] ボックスで、話中ランプフィールド (BLF) の短縮ダイヤル ボタン数を入力します。
ボタン数を入力すると、各 BLF 短縮ダイヤル番号用の列が表示されます。

- ステップ 9** スプレッドシートの各行に、個別の電話のデータを入力します。

すべての必須フィールド、および関連する任意指定フィールドに値を入力します。各列の見出しは、フィールドの長さ、およびそのフィールドが必須なのか任意指定なのかを指定しています。電話フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。

- ステップ 10** 各電話の MAC アドレスを入力しなかった場合は、[ダミーMACアドレスの作成 (Create Dummy MAC Address)] チェックボックスをオンにします。

注目 ダミーMACアドレスのオプションは、H.323クライアント、VGC電話、またはVGC仮想電話には使用しないでください。

ステップ 11 [BAT形式にエクスポート (Export to BAT Format)] をクリックして BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータ ファイルにデータを転送します。

ヒント エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT の [電話の挿入 (Insert Phones)] ウィンドウで [サンプルファイルの表示 (View Sample File)] のリンクをクリックしてください。

このファイルは、デフォルトのファイル名 (<タブ名>-<タイムスタンプ>.txt) で、ローカル ワークステーション上の選択したフォルダに保存されます。

テキストエディタを使用したカスタム電話ファイル形式の作成

テキストエディタを使用して、テキストベースの CSV データ ファイル用にカスタムの電話ファイル形式を作成できます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話ファイル形式 (Phone File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] を選択します。

ステップ 2 [Add New] をクリックします。

ステップ 3 [形式名 (Format Name)] フィールドに、このカスタム形式の名前を入力します。

ステップ 4 カスタム ファイル形式に表示するフィールドを選択します。次の手順を実行します。

- デバイス フィールドを選択するには、[デバイスフィールド (Device Fields)] ボックスでデバイス フィールド名をクリックし、次に矢印をクリックしてそのフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] ボックスに移動します。

CSV データ ファイルには、[MACアドレス/デバイス名 (MAC Address/Device Name)] と [説明 (Description)] を含める必要があります。したがって、これらのフィールドは常に選択された状態になっています。

ヒント リスト内の項目の範囲を選択するには、**Shift** キーを押しながらフィールド名をクリックします。複数のフィールド名を個別に選択するには、**Ctrl** キーを押しながらフィールド名をクリックします。

- [回線フィールド (Line Fields)] ボックスで回線フィールド名をクリックしてから、矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスに移動します。
- [インターコムDNフィールド (Intercom DN Fields)] ボックスで、インターコム DN フィールドの名前をクリックしてから矢印をクリックし、そのフィールドを [選択済みのインターコムDNフィールド (Selected Intercom DN Fields)] の [順序 (Order)] ボックスに移動します。

ヒント [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)]、[選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)]、および [選択済みのインターコムDNフィールド (Selected Intercom DN Fields)] の [順序 (Order)] ボックス内の項目は、順序を変更できます。項目を選択し、上矢印と下矢印を使用して、リスト内でフィールドを上または下に移動します。

ステップ 5 [IP Phoneサービスの最大数 (IP Phone Services Maximums)] 領域で、次のフィールドに最大値を入力します。

- [短縮ダイヤルの最大数 (Maximum Number of Speed Dials)]
- [BLF短縮ダイヤルの最大数 (Maximum Number of BLF Speed Dials)]
- [BLFダイレクトコールパークの最大数 (Maximum Number of BLF Directed Call Parks)]
- [IP Phoneサービスの最大数 (Maximum Number of IP Phone Services)]
- [IP Phoneサービスパラメータの最大数 (Maximum Number of IP Phone Service Parameters)]

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

カスタムのファイル形式の名前が、[電話ファイル形式の検索と一覧表示 (Find and List Phone File Formats)] ウィンドウの [ファイル形式名 (File Format Names)] リストに表示されます。

Unified Communications Manager への電話の挿入

電話レコードを Unified Communications Manager データベースに挿入する際は、ターゲット CSV データファイルと、電話レコードの挿入方法を定義します。リストされるアクションから任意の組み合わせを選択して、既存の電話レコードを上書きするのか、またはアップロード時にレコードを挿入するのかを選択できます：

- 新しい短縮ダイヤルを追加する前に、既存の短縮ダイヤルをすべて削除してください。
- 新しい短縮ダイヤルを追加する前に、既存の BLF 短縮ダイヤルをすべて削除してください。
- 新しいコールパークを追加する前に、既存の BLF ダイレクトコールパークをすべて削除してください。
- 新しいサービスを追加する前に、既存の登録サービスをすべて削除してください。



(注) 挿入する前に、電話レコードを検証する必要があります。



(注) BAT は、次の形式によるディレクトリ番号の URI フィールドを想定しています。

ディレクトリ番号 1 の URI 1、ディレクトリ番号 1 の URI 1 ルートパーティション、ディレクトリ番号 1 の URI 1 プライマリ。

ダミー MAC アドレスのオプションを使用できます。CTI ポートを追加する際にこのオプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、CTI ポートごとに一意のデバイス名が指定されます。このダミー MAC アドレスは、後で Cisco Unified Communications Manager Administration または Unified CM 自動登録電話ツールを使用して手動で更新できます。ダミー MAC アドレスのオプションは、H.323 クライアント、VGC 電話、または VGC 仮想電話には使用しないでください。

ダミー MAC アドレスのオプションにより、次の形式のダミー MAC アドレスが自動的に生成されます。

XXXXXXXXXXXX

ここで、X は、任意の 12 文字の 16 進数値 (0 ~ 9 と A ~ F) を表します。

始める前に

- 追加するデバイス用に、Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) の電話テンプレートが必要です。データファイルのアップロードについて、ターゲットと方法を選択できます。挿入する前に、電話レコードを検証する必要があります。
- 電話またはその他の IP テレフォニー デバイスに関する一意の詳細情報を含む、カンマ区切り値 (CSV) 形式のデータファイルが必要です。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話の挿入 (Insert Phones)] を選択します。

ステップ 2 アップロードする電話レコードのファイル形式タイプを指定します。

- a) カスタマイズされたファイル形式を使用する電話レコードを挿入するには、[電話固有の詳細の挿入 (Insert Phones Specific Details)] ラジオ ボタンをクリックして、[ステップ 3 \(15 ページ\)](#) と [ステップ 5 \(16 ページ\)](#) に進みます。
- b) [すべての詳細 (All Details)] オプションを使用して生成したエクスポート済みの電話ファイルから電話レコードを挿入するには、[電話のすべての詳細の挿入 (Insert Phones All Details)] ラジオ ボタンをクリックします。

ステップ 3 [ファイル名 (File Name)] ドロップダウンリストで、この特定のバルク トランザクション用に作成した CSV データファイルを選択します。次に、選択したカスタム ファイルで電話を更新できるようにするには、[カスタムファイルで電話機の更新を許可する (Allow Update Phone with Custom File)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにすると、既存の電話の設定が、挿入するファイルに含まれている情報で上書きされます。次に、アップロード中に実行するアップロードアクションの横にあるチェックボックスをオンにします。

[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにすると、次のアップロード操作が選択可能になります。

- 新しい短縮ダイヤルを追加する前に、既存の短縮ダイヤルをすべて削除してください。

- 新しい短縮ダイヤルを追加する前に、既存の BLF 短縮ダイヤルをすべて削除してください。
- 新しいコールパークを追加する前に、既存の BLF ダイレクトコールパークをすべて削除してください。
- 新しいサービスを追加する前に、既存の登録サービスをすべて削除してください。

(注) アップロード時に CSV データ ファイルの既存のレコードにこれらのレコードを追加する場合は、このチェックボックスをオフにします。

ステップ 5 [固有の詳細 (Specific Details)] オプションを選択した場合は、[電話テンプレート名 (Phone Template Name)] ドロップダウンリストで、このタイプのバルク トランザクション用に作成した BAT 電話テンプレートを選択します。

注目 CSV データ ファイルに個別の MAC アドレスを入力しなかった場合は、[ダミーMACアドレスの作成 (Create Dummy MAC Address)] チェックボックスをオンにする必要があります。この情報は、後で手動で更新できます。[ステップ 8 \(16 ページ\)](#) にスキップします。データ入力ファイルで MAC アドレスまたはデバイス名を指定した場合は、このオプションを選択しないでください。

ユーザに割り当てられている電話の MAC アドレスがわからない場合には、このオプションを選択します。電話機が接続されると、そのデバイスの MAC アドレスが登録されます。

ステップ 6 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域で、ジョブの説明を入力します。

ステップ 7 挿入の方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) 電話レコードをすぐに挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) 後で電話レコードを挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 8 [送信 (Submit)] をクリックして、電話レコードを挿入するジョブを作成します。このジョブをスケジュール設定またはアクティブ化するには、[ジョブの設定 (Job Configuration)] ウィンドウを使用します。

次のタスク

挿入する電話のタイプが Cisco Unified Mobile Communicator である場合は、挿入ジョブを完了した後でデバイスをリセットする必要があります。電話をリセットするには、[一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のリセット/リスタート (Reset/Restart Phones)] を選択します。

ユーザの追加

BAT スプレッドシートを使用して複数の新しいユーザを Unified Communications Manager データベースに一括で追加するには、CSV データ ファイルを作成する必要があります。

Cisco IP SoftPhone のように CTI ポートを必要とするアプリケーションを使用するユーザの場合、BAT で CTI ポートを既存のユーザに関連付けることができます。

手順

- ステップ 1** カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成して、追加するユーザごとに個々の値を定義します。
- ステップ 2** BAT を使用して、ユーザを Unified Communications Manager データベースに挿入します。

BAT スプレッドシートからのユーザ CSV データ ファイルの作成

Unified Communications Manager データベースに新しいユーザを追加するための詳細情報を BAT スプレッドシートに入力し、それを CSV データ ファイルに変換することができます。



- (注) BAT スプレッドシートに空白行を含めると、その空白行がファイルの終わりとして扱われません。空白行より後に入力されたデータは BAT 形式に変換されません。

BAT スプレッドシートでユーザを追加するためのフィールドを編集し終えたら、その内容を CSV 形式のデータ ファイルにエクスポートできます。エクスポートされる CSV 形式のデータ ファイルには、次のようなデフォルトのファイル名が割り当てられます。

<タブ名>-<タイムスタンプ>.txt

ここで、<タブ名> は、作成した入力ファイルのタイプ (たとえば電話) を表し、<タイムスタンプ> は、ファイルが作成された正確な日時を表します。

エクスポートされたファイルをローカルワークステーションに保存した後で、CSV 形式のデータ ファイルの名前を変更できます。いずれかのフィールドにカンマが入力されている場合、BAT 形式にエクスポートする際にそのフィールド エントリは二重引用符で囲まれます。



- (注) CSV ファイル名にカンマが含まれていると (例: abcd,e.txt) 、Unified Communications Manager サーバにアップロードできません。

手順

- ステップ 1** BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。
- ステップ 2** スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。

ステップ 3 ユーザを追加するには、スプレッドシートの下部にある [ユーザ (Users)] タブをクリックします。

ステップ 4 すべての必須フィールド、および関連する任意指定フィールドに値を入力します。各列の見出しは、フィールドの長さ、およびそのフィールドが必須なのか任意指定なのかを指定しています。

各行に、オンライン ヘルプ ファイルの説明に従って情報を入力します。

- ユーザが複数のデバイスを使用している場合は、デバイスごとに、デバイス名フィールドを入力する必要があります。
- 新しいユーザに関連付ける追加のデバイス名を入力するには、[制御するデバイスの数 (Number of Controlled Devices)] テキスト ボックスに値を入力します。

(注) CTI ポート、ATA ポート、および H.323 クライアントなど、すべてのデバイスをユーザに関連付けることができます。

ステップ 5 新しいユーザに関連付ける追加のデバイス名を入力するには、[制御するデバイスの数 (Number of Controlled Devices)] テキスト ボックスに値を入力します。

ステップ 6 [BAT形式にエクスポート (Export to BAT Format)] をクリックして BAT Excel スプレッドシートから CSV 形式のデータ ファイルにデータを転送します。

このファイルは、デフォルトのファイル名 (<タブ名>-<タイムスタンプ>.txt) で、C:\XLSDataFiles に保存されます。または [参照 (Browse)] を使用して別の既存フォルダに保存することもできます。

ヒント エクスポートされた CSV データ ファイルを読み取る方法については、BAT の [ユーザの挿入 (Insert Users)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示 (View Sample File)] のリンクをクリックしてください。

次のタスク

CSV データ ファイルを Unified Communications Manager データベース サーバの最初のノードにアップロードして、BAT がデータ ファイルにアクセスできるようにする必要があります。

Unified Communications Manager データベースへのユーザの挿入

CSV データ ファイルを使用して、ユーザのグループを Unified Communications Manager データベースに追加できます。ユーザを挿入する目的で CSV ファイルに入力したフィールド値は、ユーザ テンプレートに入力された値よりも優先されます。



注目 クレデンシャル ポリシーで [単純すぎるパスワードの確認 (Check for Trivial Passwords)] 「」が有効化されており、ユーザ テンプレートに入力されたパスワードがユーザ ID と同じである場合、単純すぎるパスワードに関する必須条件をユーザ ID が満たしていない場合は、BAT を介したユーザの挿入が失敗することがあります。

BATを使用すると、制御対象のデバイスを選択せず、プライマリ内線番号を設定した状態で、ユーザを挿入できます。それには、BATを使用してユーザを挿入する前に、Unified Communications Manager で DN を定義しておく必要があります。DN を事前に定義する手順の概要は、次のとおりです。

1. DN ページで、ユーザのプライマリ内線番号に関連付ける DN の範囲を作成します。
2. 設定したプライマリ内線（同じ DN の事前定義の値と同じにする必要があります）を使用して、BAT テンプレートを作成します。
3. 次の手順に示すように、BAT を使用してユーザを挿入します。

始める前に

ユーザ名、制御するデバイスの名前、および電話番号が格納されている、UTF-8 符号化形式で保存された CSV データ ファイルが必要です。次のいずれかの方法を使用して、CSV データ ファイルを作成できます。

- CSV 形式に変換される BAT スプレッドシート
- ユーザ データのエクスポート ファイルを生成するエクスポート ユーティリティ



(注) エクスポートした BAT ファイルを使用してユーザを挿入する場合、複数のファイルにエクスポートされたユーザについて、「「ユーザIDはすでに存在します (User ID already exists)」」というエラーが表示されることがあります。たとえば、直属マネージャのリストとユーザのリストの両方に、同じマネージャのユーザ ID が含まれている場合があります。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの挿入 (Insert Users)] を選択します。

ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 3 エクスポート ユーティリティを使用して作成した CSV データ ファイルの場合は、[ユーザのエクスポートで作成されたファイル (File created with Export Users)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] ドロップダウン リストから、この挿入で使用するユーザ テンプレートを選択します。

(注) ユーザプロファイル、制御するデバイスの名前、およびディレクトリ番号が、Unified Communications Manager データベースに存在している必要があります。制御するデバイスの完全な名前を入力する必要があります。デバイス名に MAC アドレスしか含まれていない場合は、デバイスが存在しないことを示すエラーが BAT に表示されます。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域で、ジョブの説明を入力します。

ステップ6 挿入の方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) ユーザレコードをすぐに挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) ユーザレコードを後で挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ7 ユーザレコードを挿入するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュール設定またはアクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

BAT スプレッドシートを使用したユーザ付きの電話の追加

電話とユーザを一括して追加するための CSV データ ファイルを作成します。

手順

ステップ1 BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。

BAT.xlt ファイルをダウンロードできます。

ステップ2 スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。

ステップ3 スプレッドシートの下部にある [電話-ユーザ (Phones-Users)] タブをクリックします。

ステップ4 [BAT スプレッドシートを使用した電話用 CSV データ ファイルの作成 \(10 ページ\)](#) のステップ 4 ~ 10 を実行します。

電話およびユーザのファイル形式の追加

テキストベースの CSV データ ファイルを使用して、電話とユーザのファイル形式を追加できます。CSV データ ファイルが作成された後で、そのファイル形式をテキストベースの CSV データファイルと関連付ける必要があります。ファイル形式を CSV ファイルに関連付けると、各フィールドの名前は CSV データ ファイルの最初のレコードとして表示されます。この情報を使用して、各フィールドの値を正しい順序で入力してあることが確認できます。

始める前に

更新する各ユーザに対して個別の値を定義する CSV データ ファイルを作成する必要があります。

テキストエディタを使用して CSV データ ファイルを作成した場合は、テキストベースのファイルに値を入力するためのファイル形式をすでに作成したということになります。ファイル形式によって指定した順序でテキスト ファイルに値を入力します。

手順

- ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話とユーザ (Phones and Users)] > [電話とユーザのファイル形式 (Phones & Users File Format)] > [ファイル形式の割り当て (Assign File Format)] の順に選択します。
[ファイル形式の設定の追加 (Add File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成したテキストベースの CSV ファイルを選択します。
- ステップ 3 [形式ファイル名 (Format File Name)] フィールドで、このタイプのバルク トランザクション用に作成したファイル形式を選択します。
- ステップ 4 一致するファイル形式を CSV データ ファイルに関連付けるジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 5 このジョブをスケジュール設定またはアクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。
(注) ファイル形式を追加すると、ユーザ フィールドが自動的に追加されます。

Unified Communications Manager への電話機とユーザの挿入

電話とユーザのグループを Unified Communications Manager データベースとディレクトリに追加できます。



- (注) 挿入する前に、電話レコードを検証する必要があります。

ダミー MAC アドレスのオプションを使用できます。CTI ポートを追加する際にこのオプションを使用すると、ダミー MAC アドレスの形式で、CTI ポートごとに一意のデバイス名が指定されます。このダミー MAC アドレスは、後で Cisco Unified Communications Manager Administration または Unified CM 自動登録電話ツールを使用して手動で更新できます。ダミー MAC アドレスのオプションは、H.323 クライアント、VGC 電話、または VGC 仮想電話には使用しないでください。

ダミー MAC アドレスのオプションにより、次の形式のダミー MAC アドレスが自動的に生成されます。

XXXXXXXXXXXX

ここで、X は、任意の 12 文字の 16 進数値 (0 ~ 9 と A ~ F) を表します。

始める前に

1. カンマ区切り値 (CSV) データファイルを作成して、挿入する電話とユーザごとに個々の値を定義します。BAT スプレッドシート (BAT.xls) を使用して CSV データ ファイルを作

成し、電話とユーザを追加することができます。または、CSV 形式のカスタム テキスト ファイルを作成し、電話とユーザの組み合わせを追加することができます。

2. ファイル形式と CSV データ ファイルを関連付けます。
3. 電話とユーザのレコードを検証します。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話とユーザ (Phones & Users)] > [ユーザ付きの電話の挿入 (Insert Phones with Users)] を選択します。

ステップ 2 [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。

ステップ 3 [電話テンプレート名 (Phone Template Name)] フィールドで、このトランザクションに使用した BAT 電話テンプレートを選択します。

注目 CSV データ ファイルに個別の MAC アドレスを入力しなかった場合は、[ダミーMAC アドレスの作成 (Create Dummy MAC Address)] チェックボックスをオンにする必要があります。この情報は、後で手動で更新できます。データ入力ファイルで MAC アドレスまたはデバイス名を指定した場合は、このオプションを選択しないでください。

ユーザに割り当てられている電話の MAC アドレスがわからない場合には、このオプションを選択します。電話機が接続されると、そのデバイスの MAC アドレスが登録されます。

ステップ 4 [ユーザテンプレート名 (User Template Name)] フィールドで、このトランザクションに使用した BAT ユーザ テンプレートを選択します。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)] 領域で、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 挿入の方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) 電話とユーザをすぐに挿入する場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)] をクリックします。
- b) 電話機とユーザを後で挿入する場合は、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

ステップ 7 電話とユーザのレコードを挿入するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

このジョブをスケジュール設定またはアクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。